

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 10 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
当社の事業は元来環境負荷が大きな物でありました。故に省エネやできるだけ環境負荷の少ない製品の販売に傾注してまいりました。今後も安定的で経済合理性をかね添えた物品の販売を継続してまいります。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
省エネ機器やグリーン電力の啓蒙と販売			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	環境ISOの活動を維持継続する。太陽光発電機器の有効活用を検討する。グリーン電力の啓蒙を継続する。	環境ISOで話題の事業用燃料、電力使用量は従前と変化はなく予定通りとなっております。グリーン電力は未知数。	1. 環境ISOの数値管理継続 2. グリーン電力の啓蒙 3. バイオマス発電に寄与
	酪農家向けの展開を拡充する。	コロナ禍で直接のご案内を躊躇する状況が継続致しました。	コロナ禍の状況にも寄りますが、存続の危機に直面している酪農家の経営に寄与する。
	省エネルギー機器の販売と啓蒙活動を継続する。セルロースナノファイバーの啓蒙活動を継続する。	無電極ランプは生産国の事情で展開が軟調でした。セルロースナノファイバー関係もコロナ禍で進展がありません。	省エネルギー機器の販売と啓蒙活動を継続する。セルロースナノファイバーの啓蒙活動を継続する。生産国の事情もありますが、適材適所の提案を実現して参ります。
	地域の諸団体が実施する海岸清掃に継続参加する。	清掃活動 3回企画され2回参加	地域の諸団体が実施する海岸清掃に継続参加する。
	酪農家の生産性向上に寄与する。	畜産飼料、電力の高騰といった外部要因に起因した話題で終始しております。当方の省電力設備等への投資関係は先送りされております。	存続の危機を経験している状況が改善される事を前提に省電力設備等の啓蒙を継続します。バイオマス発電に寄与します。
	自治体、協力事業者と協業しSDGsの進展を実現する。	関係各位のご理解を得て、幾つかのLEDではない省エネルギー照明機器、緊急用発電機を設置する事ができまし	自治体、協力事業者と協業しSDGsの進展を実現する。

（記載上の注意）

- 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	望月燃料株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業種	7. 卸売・小売業	
3	従業員（構成員）数	5人	
4	代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長
		氏名	望月紀久朗
5	所在地	〒424-0866	
		静岡県清水区船越三丁目12番44号	
6	ホームページURL	http://www.mochinen.co.jp	